

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ぼんぼこはうすelmo		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 25日		令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育内容の充実	子どもたちの発達状況や困りごとに合わせて、楽しくきめ細やかな支援を心がけている	職員の研修参加
2	送迎時に保護者とお話ができること	顔を見てお話をする機会があることで、自宅での様子や施設での様子を共有し、質問等にも答えられるよう心がけている	全ての職員が質問等に応じることができるよう情報共有していく
3	満足度	サービス業の一環として保護者からの信頼を得られるよう、ニーズの把握や問題発生時の対応をしている	サポートの幅を広げ、ニーズを優先しつつ、他の事業についても新たに取り入れていく必要がある

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関する評価が低い	取り組み自体は実施しているが、情報開示の方法に課題があり、理解されていないことが多い	非常時の対応について定期的に情報共有し、避難訓練回数増加などに努める
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会について	この活動が、精神的・体力的に負担と感じる子どもたちもいる。特性に十分配慮し、交流に目的・目標を設定し活動していくことが必要である	子どもたちが普段関わることがない年代の方々と、子どもたちが楽しめるような活動を企画し、触れ合える場を提供できるよう努める
3			